

さ ざ ん か

第 105 号、2010 年 8 月

今年も暑かった。今年も貴重な命が水の事故で失われてしまいました。子供や若者の死は特に痛ましく感じられます。

そういえば、今年が終戦 65 年目でした。若者といえば、水の事故とは比較にならないくらいの大勢の若者が、戦争で命を散らしたことを忘れてはいけないと思います。

水の事故はまったくの事故であり、ある意味仕方がないと諦めがつく面もなきにしもあらずですが、戦争で自ら航空機ともども敵艦に体当たりをしていった若者はどうなのでしょう。やはり、その時代とか世界情勢とか、生まれた時代が悪かったのでありそれも仕方のないことだとあきらめるべきなのでしょう。

一部の武器関連の企業（かつての財閥など）とか自己中心的、好戦的な軍人（かつての帝国陸軍の一部の将軍達）は別ですが、大部分の人は戦争に反対だろうと思います。それでも、戦争は絶えません。第二次大戦後もアメリカは戦争をしっぱなしです。戦争をしない、と宣言することと、自分の身を守るための武器を持つこととは別問題だと思うのですが、この辺の話はきりがないところなのでやめますが、65 年と云う月日は随分長いものだと思うのです。やはり、そのときの誓いとか、確固たる信念も変化していくのが普通なのだろうなあと思います。65 年というのは、幕末から一気に明治、大正時代と通り越して昭和時代になってしまうくらい長い時間なのです。古いものを守りつつ、一方では、それに新しい形を加えて改善し、これまでのものより一味違う進歩をしてきたものがこれまでの日本人のやり方でした。（文字や絵画や文学など）。戦争直後に誓った非武装中立の姿勢だけでは生きていけないのではないのでしょうか。憲法 9 条は永遠ではないでしょう。

あの暑い真夏の 8 月 15 日。当時の日本国民は何を考え、何を思ったのでしょうか。多くの犠牲の上に築かれた平和である事を自覚して感謝しないといけないなあ、とは思いつつ、時の流れとともに人も人の考えも変わっていくのもまた仕方のないことだ、とも思ったりした今年の夏でした。

俳句

西屋敷 喜美子

リハビリの 至福の時や 梅雨明くる
 クーラーの 部屋で一日を 過ごしけり
 猛暑日や もみじマークの 後に行く

県立北薩病院の理念

慈愛・協調・前進

県立北薩病院の基本方針

- 1 患者さんの満足、ご家族の安心を提供します
 - 2 急性期医療の実践と、より高い専門医療を追求します
 - 3 地域の医療、福祉との連携を強め、これを支援します
 - 4 仕事を通して喜びと生き甲斐を追求します
-
-

病院からのお知らせ

- * 7月から当院はDPC対象病院となり入院、外来のシステムが若干変わります。具体的には、主として長期入院が困難になります。そのかわり、リハビリテーション中心の亜急性期病床などの設定がありますので、それらをご利用できると思います。
- * 病院内では、全ての方にマスク着用をお願いしていましたが、とりあえず4月から義務付けは解除いたしました。可能な方はマスク着用を継続下さい。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみてもいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- * MRIで脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながるからです。また、脳動脈瘤（くも膜下出血の原因となる）の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。
- * MRIは腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるい

は肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。

- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。近年乳がんが増加傾向です。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。

短歌

瀬戸 よし子

難聴の夫と話せば 友だちが 夫婦喧嘩と 勘違いする

黒雲は一息毎に 風と雨を引き連れてくる 笛も吹きつつ

原子爆弾と核武装の夏

カラーマン (とそのオンナ)

今はもうあまり右翼とか左翼とかそういう言葉にこだわりが少なくなってきたように感じる。大体、いまだきの若者は右翼、左翼と云う言葉さえ知らないかもしれない。

(なにしろ、ニッポンがアメリカ合衆国と戦争をしたことすら知らない人間がうようよいるような時代なんだものね。)

さすがに、原爆を落とされた人類史上唯一の国だ、と云うことくらいは知っているだろう (と思うが・・・) が、それでもニッポンが悪いことをしたから原爆を落とされたのだと思っている人間も意外と多い。なにしろ広島原爆碑には「安らかに眠ってください 過ちは繰り返しませぬから」と刻まれているのだから、日本人が過ちをしたから原爆を落とされたのだと思う人も多いことだろう。

(本当は、無差別殺人を行なったアメリカ合衆国の原爆投下が過ちであるのだけれど。アメリカ人が (原爆を落とした) 過ちを繰り返しませぬから、というべきなんだわ)

まあ、それでも原爆による放射能の影響で何十年も不毛の地になるだろうと云われながら、長崎も広島も立派に立ち直って繁栄している。ヒロシマにはウラン型、ナガサキにはプルトニウム型をそれぞれ別々に実験したことはご存知だと思ふ。

核戦争は人類を滅ぼす、といわれながらも、こうして核を投下され無差別大量殺戮されたにもかかわらずに見事に生き残っている事実は、逆に言うと核の恐怖をいづらか過小評価してしまうという、皮肉な結果を招いているのかもしれない。一度使用したらそれで、人類は終わりだ。では、ないということを広島、長崎が証明してしまった。

(一度落とされても、不死鳥の如く蘇ることができると示してしまったわね。もし、それがナガサキやヒロシマでなく、トーキョーやオーサカであったとしても、同じように原爆の災禍から立ち直ったのではないかしら。おそろべしニッポン人。)

それにしてもである。それにしても、今更ながら思うのである。ほとんど戦争の勝敗の行方（日本の敗戦）は決まっておき、すでに東京はじめ日本の都市を殆ど焼夷弾で焼き尽くしていたにも拘わらず、何ゆえに、核を使用しなければならなかったのだろうか。もっともらしそうで全然説得力のない説はいくつかあるようだ。（例えば原爆投下せずに、戦争が長引いて本土決戦になるともっと多くの人間が死んだだろう、とか、ソ連が占領する前に必要だったとか）

結局のところは、戦争そのものが狂気に包まれた中で行なわれ、その中では狂気の判断しかできない、ということだろうか。勿論、白人の黄色人種に対する偏見、蔑視はあっただろうが、アメリカ合衆国そのものも多くの有色人種を抱え込んでいるのであり、単に人種差別だけだとは思えない。アメリカ軍には、黒人兵士も多く居ただろうし。もっと早く原爆を開発できていたら、白人であってもナチスドイツ相手には使用したのではないだろうか、とも推測できる。

（結局は得体の知れない狂気のなかで、やはり新爆弾の破壊力を見てみたいという好奇心にまけたり、非戦闘員が多く住む都市を焼き尽くすことそのものにも慣れてしまっていて大量殺戮に鈍感になっていた、そういう空気のなかで行なわれた狂気と云う側面が強いのかしらね。そういえば、戦争は全て狂気の中でおこなわれているけど、狂気が狂気でなくなってしまうあるいは狂気を自覚しないことが本当に怖いことなんじゃないかしら）

客観的に見てあるいは歴史的に見て、資本主義、帝国主義列強の強欲競争だった第二次世界大戦。戦争に負けた日本とドイツだけが裁かれるというこれまた戦後の狂気のなかで行なわれた不思議な現象。勝者が敗者を裁判にかける。勝者が検察、敗者が被告。勝てば正義。勝った方は人道的戦闘を行なったが、まけたほうは非人道的行為のみ行なった。勿論、戦勝国がおこなった原爆投下は非人道的行為ではない。

中立条約を破って、満州に攻め入り数々の虐待（虐殺、強姦、強奪など）行為を行い、おまけに数十万人もシベリアに抑留し、酷寒の地で戦後数年にわたり、過酷な労働を強いて何万人も死に至らしめた国も正義の国となり、裁くほうにまわった。強引にあとから全体主義国と民主主義国の戦いだっただ、民主主義を守る戦争だったのだ、などとなんともいかげんな理屈がまかり通ったりもしている。

（本当にソビエト連邦てひどい国だわねえ。明治時代からロシアの南下を恐れたニッポン人の感覚は正しかったのだわ。）

ベトナム戦争に負けたアメリカ合衆国の軍人で A 級戦犯といわれ絞首刑になった人間は

居ない。ベトナムの緑の大地をナパーム弾で焼き尽くし、胎児に遺伝変異をきたす枯葉剤をところ構わず巻き散らかした罪は問われていない。もちろん、自国の若者の命を何万人も失うという抱えきれないほどの犠牲は支払ったが、それでもアメリカ合衆国の政治家、将軍は罪には問われていない。

（ベトナム人がアメリカ人を裁いたという話しは聞かないわねえ。罪滅ぼしにベトナム難民を引き受けざるを得なかったという話しは聞くけどね。それを考えても第二次世界大戦終戦後、裁判にかけられ罪を問われ、銃殺とか絞首刑になった日本人がかわいそうだわあ。ケンカ両成敗っていうのにね）

ありもしない大量破壊兵器をでっち上げ、強引に他国に侵入し、挙句の果てには大統領であったフセインを絞首刑にしたアメリカ合衆国の政治家たち。そこには正義も大義も見出せない。そう、彼らはこの程度のレベルの人間なのである。アメリカの政治のレベルはおそらくずっと変わっていない。おのれの都合のみで、なんとでも理屈をつけて力づくで強引にカタをつけるという体質は、第二次世界大戦の時からおなじである。

一方的に日本が悪いとか言われている（というか、思わされている）けれど、要するにイラクに勝手に攻め入ったのと同じ様な自己中心、視野狭窄的な体質で、弱いものいじめ（当時の大日本帝国）をただけに過ぎないのだ。

（そうよね。当時の日本の軍人さんとか政治家がもう少しオトナだったら、彼らの挑発にも乗らずにすんだかもしれないのにね。まあ、当時の日本人がおばかだったことは、否めない事実だわね。）

最悪 1 発ですむ核爆弾を 2 発も落としたのも、戦争に負けた日本人を裁いたのも、フセインを絞首刑にしたのも同じような、幼稚で残虐なメンタリティのアメリカ人達なのである。

そういう幼稚で残虐な精神の持ち主である彼らが、二度と日本を立ち直らせないために作ったのが日本国憲法なのである。軍隊さえ持たさなければ、幾らへ理屈をこねても少々金持ちなっても、黄色いサルは二度と俺達には真っ向から歯向かえないだろう。平和を愛するやさしきニッポン人という殻でくるんでやれば、お人よしの彼らはそうそう疑問も持たずに平和憲法、平和憲法と念仏の如くの唱えるだろうよ。

（まず、教育からかえて、これまでの日本人の生き方は間違っていたと教え込んだら、いとも簡単にそれを受け入れてしまったわ、彼らは。日の丸が間違った戦争の象徴だと思ったら、国旗掲揚すらしなくなったわ。やれやれ。国旗とか国歌を大事にするとまた戦争への道を歩みだすとか、云っているぞ。お、面白い民族だなあ。国旗の日の丸を大事にしたら軍国主義だとか。しかも、あの大戦は全部自分たちが悪かったといってくれているの

には助かるなあ。とアメリカ人は思ってるわよ、きっと。)

たくさんのアメリカ合衆国の思惑に満ちた日本国憲法。それを後生大事に守ろうという一部のニッポン人。(まあ、これらの人を左翼、と云うのでしょうか。マスコミを含む進歩的文化人、あるいは、教祖となったオッサンの偶像崇拜をする宗教人、あるいはアメリカ人に貰った既得権を失うまいと必死の労働組合などかしら。)

いつものように飛躍的な本日の結論。

原爆を落とされた日本には核武装する権利があるだろう。同時に、核廃絶の先頭に立つ責任もまたあるであろう。

人間関係

別府政隆

これまでの自分の人生を詳に省みる時、私も早や高齢者の仲間入りの年令になった今、色々な事に出会った。うれしい事、楽しい事、嫌な事、辛い事、悲しい事等、人生には人を愛する事でさけて通れない、人間関係が最も大切である。私は中学 1 年生の頃、人間関係を意識し始めた事を思い出しています。

人の長所を見るようにならねば、良い人間関係はありえない。また、相手が創るのではなく、自分が良い人間関係を創るのである。言葉では簡単だが、心の巧みさが欠けては信頼をも失うのである。人には多種多様ではあるが、人の事をきにしない人もいるが、口は災いのもと、一言で相手を傷つけることもある。私の知人ですでに 10 年以上も口をきかない人がいる。今では誰も友人がいない哀れな人もいるのである。こうして考えて見ると、世の中は物の道理を良くわきまえ、物事を全体として見きわめる事ではなからうか。知識よりも知恵である。

先ずは、自分に誠実に生きる事にあると思う。真の自尊とは自分が自らを裏切らず、忠実に行動することではなからうか。今からでも遅くはない。日々人間関係を忠実に前向きに生きる事。そして楽しい一日を過ごす事です。

編集後記

今年も暑かったですね。暑さでこんなに人が死ぬような時代が来るとは思ってもみませんでした。思うとはいっても所詮小人の浅慮。世の中、われわれの想像を超えたり、絶したりするようなこと(9,11テロのようなものか)が、明日にでも起こりうるのだということは、それはそうなのでしょうね。おこわ。(KT)